

2013年3月12日

プレスリリース

合同会社土曜社

「黒田東彦・次期日銀総裁」など世界指導者23名のエッセイ集

合同会社土曜社（東京・渋谷）は3月5日、国際言論団 PROJECT SYNDICATE（プロジェクトシンジケート）が1月4日に世界同時発表したエッセイ集を、『世界は考える』と題して出版しました。

チェコ共和国の首都プラハに拠点を置くプロジェクトシンジケートは、全世界の指導者・思索家の書きおろす論説を、152カ国・488の報道機関に配信し、最大660万人の知識層に届ける国際組織です。投資家のジョージ・ソロス氏などが出資しています。

新刊『世界は考える』には、政・官・財・NPOから23名の論考をおさめます。

日本からは、黒田東彦アジア開発銀行総裁（次期日銀総裁候補）が「険しい道を行くアジア」というエッセイを寄せています。予告していましたが安倍晋三首相の論考「アジアの民主的セキュリティ・ダイヤモンド」は収録できませんでした。

本書発売を記念して3月20日（水・祝）には、プロジェクトシンジケートのデーモン・ドウス氏をむかえて、刊行記念レセプションをおこないます（詳細は弊社ウェブサイト）。

「なぜ昨年11月の時点で安倍・黒田両氏をつなぐ企画が実現できたのでしょうか」

このあたりの真相も含めて、ドウス氏への取材をアレンジすることもできます。日程を照会いただければ幸いです。

以上

書名：世界は考える エンパワーする知性

執筆陣：スティグリッツ教授、ラガルド IMF 専務理事、バス世界銀行チーフエコノミスト、マンテガ・ブラジル財務相、ゲイツ米マイクロソフト会長、オニール米ゴールドマン・サックス・アセットマネジメント会長、タレブ『ブラック・スワン』著者、ソロス氏、サザーランド米ゴールドマン・サックス・インターナショナル会長、ヴィッカーズ教授、アドマティ教授、黒田東彦アジア開発銀行総裁、アセモグル MIT 教授、ギュル・トルコ共和国大統領、パネッタ前米国防長官、サントス・コロンビア共和国大統領、モスコヴィシム経財相、サンデル教授、トルキ王子、マズアワー教授、カーン・パキスタン正義行動党党首、フルシチョワ教授、ハラジ上席研究員

野中邦子翻訳・四六変型・192ページ・2013年3月5日発売

ISBN978-4-9905587-7-2 本体1900円



合同会社土曜社・豊田剛〈とよた・つよし〉tsuyoshi.toyota@doyosha.com

150-0034 東京都渋谷区代官山町 14-6-301 | www.doyosha.com

t. 050-3633-1367 | f. 03-6369-3339